

平成28年度 長野県木育推進事業

長野県児童・生徒 業報告



- ■主催:長野県木材青壮年団体連合会
- ■共催:長野県/中部森林管理局/()劉長野県緑の基金/長野県県産材振興対策協議会/長野県木材協同組合連合会
- ■後援:長野県教育委員会/財)長野県建築住宅センター/長野県森林組合連合会/NHK長野放送局/SBC信越放送/NBS長野放送/TSBテレビ信州/ abn長野朝日放送/長野エフエム放送/新建新聞社/長野県民新聞社

長野県木青連事務局(県木連内)

〒380-8567 長野市岡田町30-16 TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580 メール: n-msr@siren.ocn.ne.jp

WEB: http://n-msr.com/ もくせいれん 検索

第39回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

【趣 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退 旨】 してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。そ の文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。 そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推 進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長 野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただ きたいと考え、標記事業を実施しました。

【主 催】 長野県木材青壮年団体連合会

【共 催】長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、 長野県木材協同組合連合会

【後 援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、 NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、abn長野朝日放送、 長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対 象 者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

【応募基準】(1)テーマ

自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)

(2) 大きさ

タテ・ヨコ・高さ それぞれ 7.5 cm以内とする。

(3) 締切り

平成28年 9月 9日(金)

(4) 送り先

最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】

年月日	場所	内 容
平成28年 6月中旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付 各関係機関へ依頼書送付
7月~ 8月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中) 各材料の提供配布は地元会員が手配
9月 9日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
9月10日∼30日	県下全域	各地区審査会を実施
10月 5日	松本市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
10月17日~21日	松本市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示
11月 5日	松本市	松本市「やまびこドーム」信州バザールイベント内にて表彰式
11月14日~18日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁1階ロビーにて展示
平成29年 2月26日(予定)	岡山市	全国児童生徒木工工作コンクール審査会
6月17日(予定)	大阪市	全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

【審 査】《基準》

各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。

また、小学校低学年(1~4年)、小学校高学年(5~6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上 4部門に分けて審査を行なった。

- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。・木の持味を生かし独創性に優れていること。
- ・機能、デザインが優秀であること。
- ・工作技術が優秀であること。
- 【審 査 会】 平成28年10月 5日(水) 松本合同庁舎(502会議室)

【審査委員】 審査委員長 長野県総合教育センター

審査委員

専門主事 宮原 啓一 様 長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室

主 任 日詰 究 様 林野庁中部森林管理局 中信森林管理署 総括地域林政調整官 岩塚 伸人 様 (公財)長野県緑の基金

書 記 笹原 まゆみ 様 長野県県産材振興対策協議会

事 宮﨑 広雄 様 理 長野県木材協同組合連合会

理事長 宮崎 正毅様 長野県木材青壮年団体連合会

土倉 宜也 様 会 長 長野県木材青壮年団体連合会

代行副会長 田中 一興 様 長野県木材青壮年団体連合会

副会長 山崎 泰雄 様 長野県木材青壮年団体連合会

副会長 田村 紘一様

長野県木材青壮年団体連合会 白石 直仁 様 事務局長 計11名

・外部審査委員(右から)

長野県総合教育センター 宮原専門主事様 長野県林務部 信州の木活用課

県産材利用推進室 日詰主任様 林野庁中部森林管理局 中信森林管理署

岩塚総括地域林政調整官様

(公財)長野県緑の基金 笹原書記様 長野県木材協同組合連合会 宮崎理事長様 長野県県産材振興対策協議会 宮﨑理事様

【審査風景】 平成28年10月 5日(水) 松本合同庁舎(502会議室)





【展示風景】 平成28年10月17日(月)~21日(金) 平成28年11月14日(月)~18日(金)

松本合同庁舎1階ロビー 長野県庁1階ロビー









【表彰式】 平成28年11月 5日(土)

松本市「やまびこドーム」信州バザールイベント内にて









第39回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

1. 最優秀賞(長野県知事賞)

作品名	氏 名	学校名	学 年
山の奥の龍神たち	向 山 恭 平	茅野市立宮川小学校	4年
鳳凰	小 林 礼 乃	南木曽町立南木曽小学校	6年
本に見える物入れ ^{※1}	北 島 瑞 季	原村立原中学校	3年
※1 林野庁長官賞			

2. 長野県教育委員会賞

作品名	氏 名	学 校 名	学 年
	清 水 陸 哉	原村立原中学校	1年

3. 林野庁中部森林管理局 局長賞

作品名	氏 名	学校名	学 年
流木で作ったいす	矢 島 崚 也	下諏訪町立下諏訪北小学校	6年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作品名	氏 名	学校名	学 年
えものを狙う ふくろう	小 平 美優瑠	茅野市立豊平小学校	6年

5. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作品名	氏 名	学校名	学 年
いざっ 出陣!	田口雅也	上田市立清明小学校	6年

6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作品名	氏 名	学校名	学 年
えものをさがすティラノザウルス	西 澤 慶	佐久市立野沢小学校	3年

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作品名	氏 名	学校名	学 年
クワガタ	栗屋侑生	木祖村立木祖小学校	2年

8. 優秀賞

作品名	氏 名	学校名	学 年
松代の森の仲間~鹿と熊とリス達~	池田悠海	長野市立西条小学校	4年
自由コロコロ迷路	神田悠佑	千曲市立埴生小学校	5年
わたしのユメタマゴ	中 村 ゆずは	千曲市立東小学校	6年
観覧車の貯金箱	武村勇飛	山ノ内町立北小学校	6年
トンビ	齋 藤 友 仁	御代田町立御代田南小学校	4年
森のケーキ	丸 山 彩 希	諏訪市立中洲小学校	3年
スゴイ イス	橋 本 虎汰郎	天龍村立天龍中学校	1年
ぼくの町 福島まつりのみこし	田 上 凛	木曽町立福島小学校	3年
ききゅうにのってどこまでも	稲 葉 寿々子	南木曽町立南木曽小学校	2年
トイレットペーパーで回る水車	楯 花奏	南木曽町立南木曽小学校	6年

■第39回長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

	総参加人数	5,095 名
参加学校	小学校 中学校 盲・ろう・養護学校	147 校 2 校 0 校
	合 計	149 校

審査会出品数	101 点
入選 (入賞リスト 1~7)	9 点
優秀賞	10 点
佳 作	458 点
努力 賞	4,624 点
総作品数	5 101 点

最優秀賞(長野県知事賞)

山の奥の龍神たち

茅野市立宮川小学校 4年 向 山 恭 平

山の奥にいくと、こんな龍たちがいると思って、想ぞうして作りました。

楽しかったところは、5匹の龍をつけるところです。一番メインの龍は、目立つように、一番上につけました。木で作られた4匹の龍は、静岡で、たまたま見つけた流木です。一番上の龍は、流木のせんいがついていたので、龍神のおそろしさや強さを表せると思いました。残りの龍たちは、それぞれちがう神の力を持っている龍たちです。メインの龍の神の力は、世界の神の力です。

大変だったところは、まつぼっくりを、1枚1枚メインの龍の体にはりつける作業です。細かい作業で、とても時間がかかり、むずかしかったです。

山と池で、だれも近よれない、深い山の奥のふんいきを出しました。

はく力のある作品ができて、よかったです。



最優秀賞(長野県知事賞)

鳳凰

南木曽町立南木曽小学校6年 小林礼乃

どうして夏休みの木工工作で鳳凰を作ろうと思ったかというと、去年の十二月に平等院鳳凰堂に行って鳳凰堂に興味をもったからです。鳳凰堂を作りたかったけれど鳳凰堂は大きすぎて、七十五センチメートルに入るサイズまで縮小すると一本一本の木の太さが細すぎて作れないので鳳凰を作ることに決めました。

鳳凰を作る過程で、鳳凰は進化の最後です。最初は新幹線とラッコの形です。その次にエミュウになりました。エミュウは体にコケをはってモフモフしていたからモフモフ作品とも言われていました。その次に尾長鳥になりました。そして最後にやっと鳳凰になりました。

大変だった所はうろこの松ぼっくりを付けることでした。一個一個ていねいに付けるのがだんだんあきてきてしまうので、あきないようにやらなければならなかったからです。

作り終わったらやっと完成したという達成感がありました。せいいっぱいできてよかったです。



最優秀賞(長野県知事賞)

本に見える物入れ ※1

原村立原中学校 3年 北島瑞季

今年、私は何を作ろうか迷いました。今まで造形ではなく、使える物を作ってきたので今年も使える ものを作ろうと思いました。

家族とも話し合い、物入れを作ることにしました。形は何かおもしろい形にしたく、考えていたら、本が積んであるのが目に入り、おもしろいと思い本に見えるようにしようと思いました。

ほとんどの作業は切って、貼って、とめるというものでしたが、今まで使ったことのない大きな機械を使い、少し回転するようにするために、蝶番を付ける時には難しく、大人の人に手伝ってもらいながら完成させることができました。一番上のふたは模様をつけたかったので柿しぶでつけました。

今年で最後だったので賞がとれて良かったです。



長野県教育委員会賞

屏風

原村立原中学校 1年 清水陸哉

屏風のエピソード

ぼくがこの作品を作った理由は、父親に相談したときに父親が木工業をやっているので自分がどういう仕事をしているのかを伝えたいと言っていたので一番作ることが多い屏風にしました。

この作品を作るなかで難しかった所は、障子をはる所です。理由は少しでもずれてはいけないのでしんちょうにはったからです。穴をあける機械で穴をあける所も難しかったです。障子のときと同じようにしんちょうにやらなければいけなかったからです。特にノニで木の穴をきれいにするのが難しかったです。他の所にきずをつけてはいけないので難しかったです。

この作品を完成させてみて、思ったより上手くできてよかったです。父親にも難しい所は手伝ってもらっていっしょに協力して作ることができてよかったです。また来年も作れるようにしたいです。



林野庁中部森林管理局長賞

流木で作ったいす

下諏訪町立下諏訪北小学校6年 矢島 崚也

流木のいすを作って

ぼくは、夏休みに毎年家族で山や川にキャンプ、海に海水浴に行きます。その時にお父さんに流木の存在を教えてもらい、木工作品を流木で作ることを考え始めました。

そして、いすを作ろうと決めました。

実際に座れて使えるいすがいいと思いました。ふつ うの木材と比べて、一つ一つ長さも形もちがい、組 み立ての時はとてもむずかしかったです。

お父さんから道具の使い方や木の組み合わせ方などいろいろなアドバイスをもらいながら工夫して作りました。一番気にいってるのは、せもたれに自分の名前の頭文字の「Y」をアルファベットでいれたところです。六年間、木工作品を作ってきて最後にこのようなすばらしい賞をもらうことができてとてもうれしく思います。たくさんの作品の中から選んでくださりありがとうございました。



公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

えものを狙う ふくろう

茅野市立豊平小学校 6年 小平美優瑠

私の家は、自然豊かな森の中にあります。家は木々に囲まれ庭には小枝がたくさん落ちています。これまでも、それらの木々を使って木工作を作ってきました。

今年は何を作ろうかと考えたときに、小枝で体の毛や羽を表現できる動物にしたいと思いました。中でも
ふくろうが表現しやすいと思いつきました。そして、ふくろうの羽のしなやかさが出るよう、できるだけ細い
い白かばの枝を拾い集めました。ある程度の大きさを出したいので、中に発泡スチロールを入れることにしました。そこで、小刀で削ってなんとなく形にしました。そこからひたすら小枝をちょうどよい長さに切って、ホットボンドを少しつけてはるというくりかえしでした。家ののき先にイスを出してすわり、時々小枝を拾い集めながら、毎日少しずつはりつけました。時には母がイスを出してきて横にすわり、おしゃべりを
しながらはりました。けっこう時間がかかりまし

た。

最後に目をつくるために、祖父から電動ノコを借りました。祖母からは、生け花に使うために庭から切った太い白かばの枝をもらいました。うまくできた二枚を使い、ふくろうが音を集める部分を作りました。何かに使えるかもしれないととっておいた芽のような物で目玉を表現しました。

木から見下ろすようにしたかったけれど、転びそうだから、板につけてみました。目が狩りをしているみたいにするどく見えたので、小動物をそえてみました。完成しました。しかし私は思いました。目のところにぼうがあるのはみみずくではないかと…。それでも部屋にかざってみると命が吹きこまれたような存在感を感じ、大切に思えました。「できたぁ!!」という達成感を感じました。



長野県県産材振興対策協議会 会長賞

いざっ 出陣!

上田市立清明小学校6年 田 口 雅 也

ぼくが、真田幸村のかぶとを作ろうと思ったきっかけは、今年NHK大河ドラマ「真田丸」の放映で、地元上田が幸村のことで盛り上がっていると感じたからです。

幸村のかぶとは、大きな鹿の角が特徴です。けれ ど、重くするとバランスがとれなくなってしまうの で、竹ひごを全体の骨組に使いました。竹ひごを曲 げる時に、火であぶって曲げる加減が難しかったで す。仕上げの材料には、お父さんに削ってもらった 「かんなくず」で、角はひば、つばはけやき、首に かかる所はひのき、頭は杉と黒たんを使い、自然の 木の色を使い分けてかぶとの色を表現しました。全 体のバランスを考え、力強さも出せたと思います。

このかぶとを作ったことで、木には色々な種類があり色もそれぞれちがいがあることを知りました。

ぼくも真田幸村のような日本一の兵になりたいです。



長野県木材協同組合連合会 理事長賞

えものをさがすティラノザウルス

佐久市立野沢小学校3年 西澤

慶

ぼくがティラノザウルスを作ったわけは、きょうりゅうがすきで、とくにティラノザウルスが大きくて、強そうで、かっこいいなぁと思ったので、作りました。

白かばは、お母さんから「県の木」と聞いていた し、白くてきれいなので、使うことに決めました。 白かばは、お父さんと高原に拾いに行って用意しま した。

むずかしかったところは、頭が大きくて重いので、どう体にくっつける時に、バランスをとりながら長いくぎを打つのがとてもむずかしかったです。えものをさがしている感じを出すために、顔のむきもしんちょうに決めて打ちました。それから、小さいキバを一つ一つ作ってボンドでつけるところが、細かくて指がいたくなって大へんでした。

くふうしたところは、いろいろな図かんを見て、 ティラノザウルスが動いて見えるように、首や手足 のいちや、角度を決めたところです。足元には、白 かばのかわのうらがわや、まつぼっくり、どんぐ り、かる石を使って、グルーガンでちょっとずつ重 ねてとめていきました。

身の回りにある木で、かっこいいティラノザウルスを作ることができたので、ずっと大せつにしたいです。



長野県木材青壮年団体連合会 会長賞 クワガタ

木祖村立木祖小学校 2年 栗屋 侑生

ぼくは、こん虫が大すきです。なので、木こうこうさくで一ばん大すきなクワガタをつくろうと思いました。

まずはじめに、せっけい図を考えました。そのくりの本のえだを、さがしました。せっけい図と同じた。さがしました。さいけい図と同じたさがすのは、大きさや、形のえだをさがすのは、大あったがされたのでしたのではない。これとして、おりにしたのではないではないでした。とりにしたのなをあけてボンドをつけるというにした。大きして、かなをあけてボンドをつけるというにした。大本の足でバランスよくさいというにした。大本の足でバランスよく立たせるのが大へんでした。

木こうこうさくで、大すきなクワガタがかっこよくできて、うれしかったです。

